

従業者向け		令和7年度 放課後等デイサービス 評価表	対象者		15名	1st(JR店)		
本評価表は、児童発達支援・放課後等デイサービスに従事する従業者を対象に、事業所の自己評価を行った結果です。質問項目に答えるとともに、従業者の視点で「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思う点」などについて回答を得たものです。								
		質問項目	はい	いいえ	どちらでもない	わからない		
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切な範囲であるか	14	0	1	0	意見、工夫していると思う点、改善が必要だと思う点 お子様の安全を第一に考え、お部屋の広さに合わせたゆりのある人数で活動しています。	
	2	利用定員やこどもの状態などに対して、職員の配置数は適切であるか	15	0	0	0	一人ひとりにしっかりと目が届くよう、スタッフを配置して手厚く支えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 ※「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。	15	0	0	0	机の配置や掲示物を工夫し、どこで何をすることがお子様が自分で見てわかる環境を整えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	1	0	毎日掃除や消毒を行い、お子様が気持ちよく笑顔で過ごせる明るいお部屋を保っています。	
	5	必要に応じてこどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	0	0	0	気持ちを落ち着かせたい時や一人で集中したい時に、いつでも使える静かな場所を用意しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるために、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)が行われているか。	13	0	2	0	スタッフ全員で日々の気づきを話し合いながらより良い教室づくりを進めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	1	0	保護者様アンケートでいただいたご意見を大切に、すぐに行動に移して改善につなげています。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	2	0	スタッフのアイデアや現場での気づきを大切に拾い上げ、みんなで支援の仕方を考えています。	
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15	0	0	0	勉強会や研修に積極的に参加し、新しい知識をスタッフみんなで共有して日々の活動に活かしています。	
適切な支援の提供	10	保護者向けに、支援プログラムが作成、公表されているか。	15	0	0	0	どんな活動を行っているか、どなたにもわかりやすい形でホームページなどでしっかりとお伝えしています。	
	11	放課後等デイサービス支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	0	0	0	一人の担当者だけでなく、関わるスタッフ全員でお子様にとって一番良い方法を話し合っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	15	0	0	0	お子様の得意なことやご家族の願いを丁寧に伺い、その子にぴったりの支援計画を作っています。	
	13	こどもの状況を、標準化されたツール(発達検査)を用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	0	1	0	検査結果だけでなく日々の様子も細かく観察し、お子様の小さな成長のサインを見逃さないようにしています。	
	14	放課後等デイサービス支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15	0	0	0	お子様への支援だけでなく、ご家族へのサポートや将来の準備など、幅広く丁寧な計画を立てています。	
	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	0	0	0	毎日のプログラムはチームで知恵を出し合い、お子様がワクワクして取り組めるよう工夫しています。	
	16	「こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス支援計画を作成し、支援が行われているか。	15	0	0	0	一人でじっくり取り組む時間とお友達と楽しく過ごす時間を、その子のペースに合わせて組み合わせています。	
	17	支援開始前には職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担を確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	0	0	0	お子様をお迎えする前に必ず打ち合わせを行い、その日の配慮事項や役割を全員で確認しています。	
	18	支援終了後には、職員間で打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	0	1	0	活動が終わった後は必ず振り返りを行い、良かった点や次に活かすべき点を話し合っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとり、支援の検証・改善につなげているか。	15	0	0	0	毎日の様子を記録に残し、それを読み返してこれからの支え方をより良くするために活用しています。	
	20	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス支援計画の見直しの必要性を判断し、見直しを行っているか。	14	0	1	0	お子様の成長に合わせて、今の計画が合っているかどうかを定期的に見直し、作り直しています。	
	21	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。 * 自立支援と日常生活の充実のための活動「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」	14	0	1	0	遊びや学び、地域との触れ合いなど、色々な経験ができるようバランスよく活動を組み合わせています。	
	22	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	15	0	0	0	お子様が「自分で選ぶ」機会を大切に、自分で決める力を育てるための支援を工夫しています。	
	関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関(園や学校)との会議に、そのこどもの状況を理解した者が参画しているか。	15	0	0	0	学校や相談員さんとの会議に積極的に参加し、周りの支援者と足並みを揃えてお子様を支えています。
		24	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉(事業所連絡会)、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	1	0	0	病院や学校など地域の関係機関と仲良く連携し、お子様をぐるりと囲んで支える体制を作っています。
25		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10	1	4	0	これまで通っていた園や事業所とこまめに連絡を取り合い、お子様が安心して過ごせるよう努めています。	
26		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	6	2	6	相談できる仕組みを作り、より専門的な支え方ができるよう勉強しています。	
27		放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	2	6	地域の事業所などとの交流を通して、社会のルールや関わり方を学ぶ機会を作っています。	
28		(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	15	0	0	0	地域の会議や集まりに積極的に参加し、地域全体でお子様を見守る環境づくりに協力しています。	
29		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	1	0	毎日の送り迎えやお電話でお子様の様子を伝え合い、ご家族と一緒に成長を見守っています。	
30		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	0	0	0	お家でのご悩みを聞いたり、子育てに役立つ情報をお届けしたりして、ご家族を全力で応援しています。	
保護者への説明等		31	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15	0	0	0	事業所の決まりや活動内容、お金のことなどは、最初に丁寧にわかりやすい説明を心がけています。
		32	放課後等デイサービス支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	0	0	0	計画を作る時は、お子様の気持ちやご家族の「こうなってほしい」という想いを一番大切にしています。
	33	「放課後等デイサービス支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか。	15	0	0	0	計画の内容を分かりやすくお話し、ご家族に納得・安心いただくことに努めています。	
	34	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	0	3	0	育児のちょっとした悩みも気軽に相談できる、温かい相談場所でありたいと常に思っています。	
	35	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者やきょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	0	0	0	保護者様同士やご兄弟が交流できる場を作り、家族みんなが笑顔になれるお手伝いをしています。	
	36	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15	0	0	0	困ったことやご意見をいつでも言える仕組みを整え、お話を伺ったらすぐに対応するようにしています。	
	37	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	0	0	0	お便りやホームページを通じて、普段の活動やこれからの予定を楽しみわかりやすく発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	0	0	0	お預かりしている大切なお名前や情報は、外に漏れることがないよう厳重に管理しています。	
	39	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	0	0	0	お子様や保護者様に合わせて、言葉や写真、絵などを使って伝わりやすいお話を心がけています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	15	0	0	0	地域の方々とのつながりを大切に、地域から愛され信頼される事業所を目指しています。	
非常時の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	0	0	0	万が一の事故や緊急事態に備えて、スタッフ全員で本番さながらの訓練を繰り返し行っています。	
	42	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	2	0	災害が起きてもお子様の安全を守り、活動を続けられるよう、しっかりと準備を整えています。	

43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	0	1	0	お薬や体調、アレルギーなどの情報は常に新しくして、安全に過ごせるよう細かく確認しています。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15	0	0	0	アレルギーがあるお子様には、間違いが起きないよう決まった手順で細心の注意を払っています。
45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	0	0	0	お部屋の点検やスタッフの研修を重ねて、事故のない安全な教室をスタッフみんなで作っています。
46	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	0	0	0	安全への取り組みを保護者様にもお伝えし、一緒に気をつけていけるよう協力をお願いしています。
47	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	0	0	0	「危ない！」と思ったヒヤリとした経験を全員で共有し、事故を防ぐための対策を徹底しています。
48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15	0	0	0	お子様の尊厳を守り、一人ひとりを尊重する優しい関わりができるよう、研修を重ねています。
49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	0	0	0	体を無理に抑えるようなことはせず、お子様の気持ちに寄り添った対応を組織で徹底しています。
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	0	0	0	どのような場合にやむを得ず制限が必要になるかを事前にしっかり説明し、ご納得いただいた上で記載しています。

	2025年度
1	辻中 猛
2	辻中直子
3	西濱大輔
4	川上拓哉
5	寺嶋 海
6	奥平 詢
7	安藤可菜
8	中野拓真
9	吉田陽子
10	中山卓哉
11	山田佳菜
12	江越理沙
13	伊藤和起
14	桑原
15	奥田
16	前田
17	下村
18	尾崎
19	辻中桂子
20	常吉
21	志田
22	井岡

	「危ない！」と思ったヒヤリとした経験を全員で共有し、事故を防ぐための対策を徹底しています。	
	お子様の尊厳を守り、一人ひとりを尊重する優しい関わりができるよう、研修を重ねています。	
	体を無理に抑えるようなことはせず、お子様の気持ちに寄り添った対応を組織で徹底しています。	
	どのような場合にやむを得ず制限が必要になるかを事前にしっかり説明し、ご納得いただいた上で記載しています。	